

株価チャート分析専門誌



〈NO 97〉

2021年 5月24日

毎月第4月曜発行

6月号

—— 主な内容 ——

- ・ 日経平均を斬る
- ・ 変化日、日程一覧
- ・ 今月の注目株
- ・ ムサシの二刀流
- ・ 高岡隆一「今月の作戦」
- ・ マネーゲームへようこそ
- ・ うわさ
- ・ 業績ニュース
- ・ 先物建て玉

(お断り：今号、豆知識はお休みします)

発行・編集 とみ企画 富田隆弥

《月刊トレチャ》

毎月第4月曜日発行（12月のみ第3月曜日発行）

* 今後の発行日 〈 2021年 6/28、7/26、8/23 〉

誌面版 定価 2100円（誌面版、税・送料込み）

定期購読 3ヶ月 6300円、6ヶ月 12600円（PDF版料金は下記参照）

トレチャ《購読&継続方法》

まず代金を下記口座にお振り込みください。継続、再購読の方は代金振り込みにて手続き完了です。初めての方は下記「とみ企画」まで連絡お願いいたします（住所、氏名、電話番号をお聞きします）。

代金振込み先（下記いずれかをお願いいたします。）

- ・スルガ銀行 熱海支店（普）3598439 とみ企画 富田隆弥
- ・ゆうちょ銀行 12370-49989541 トミタタカヤ
（ゆうちょ銀に他行から振り込む場合 店番 238 口座番号 4998954）
- ・PayPay銀行 すずめ支店（普）1479223（トミタタカヤ）

* クレジット決済をご希望の方はネットサイト「トレーダーズショップ」をご利用ください。

* PDF判は発効日前日に添付ファイルをメールします。

早くご覧になりたい方は**PDF版（1回1800円、3回5000円）**をご検討ください。
詳細、お問い合わせは下記ブログ、または富田まで（TELは平日午後3:00~7:00）。

【制作協力企業】	・株の達人（SDB社）	03-3204-3727
	・ストックボード（SDB社）	03-3220-1911
	・株探（みんなの株式）	03-6867-1536

【お願い】

当誌は参考資料として作成・提供しているものです。売買に関する最終判断・責任はご自身でされますようお願いいたします。個別の質問に電話やメールで直接お答えすることはできません。質問には当誌面上で答えさせていただきます。お問い合わせは下記「とみ企画」まで、電話かメールでお願いいたします。（電話は平日午後3:00~8:00）

発行 とみ企画 富田隆弥

住所 〒125-0061 東京都葛飾区亀有 5-15-3

TEL 03-3606-9524 メール tomikikaku1@yahoo.co.jp

富田のブログ <http://tomitatakaya.jp/>

日経平均変化日 & スケジュール

(5/24~6/25まで)

	日付	デイリー	週間	月間
★	5月24日 (月)		3/5L→13週	5月 20年1月H ↓ 17ヶ月
	5月25日 (火)	・ 5/13L→9日		
	5月26日 (水)	満月		
	5月27日 (木)			
	5月28日 (金)			
	5月29日 (土)			
	5月30日 (日)			
★	5月31日 (月)			6月
	6月1日 (火)	・ 5/10H→17日・ 4/21L→26日		
	6月2日 (水)			
	6月3日 (木)			
	6月4日 (金)	米雇用統計 ・ 5/13L→17日		
	6月5日 (土)			
	6月6日 (日)			
★	6月7日 (月)		★ 3/18H→13週 2/16H→17週	
	6月8日 (火)			
	6月9日 (水)			
	6月10日 (木)	新月		
	6月11日 (金)	メジャーSQ		
	6月12日 (土)			
	6月13日 (日)			
	6月14日 (月)	・ 5/10H→26日		
	6月15日 (火)			
	6月16日 (水)	FOMC		
	6月17日 (木)	・ 5/13L→26日		
	6月18日 (金)	日銀		
	6月19日 (土)			
	6月20日 (日)			
	6月21日 (月)		3/5L→17週	
	6月22日 (火)			
	6月23日 (水)			
	6月24日 (木)			
	6月25日 (金)	満月		

★は注目変化日、H高値、L安値。*は暫定高安

(その他予定)			
5月25日	ダボス会議	6月1日	米ISM製造業
6月1日	ASEM首脳会議	6月3日	米ISM非製造業
6月11日 ~13日	G7サミット	6月10日	米消費者物価

日経平均を斬る

6月、梅雨空模様



- ポイント
- ① ワクチン接種進展
 - ② 日経平均、日足陰転
 - ③ ビットコイン急落
 - ④ 漂う需給懸念

自分の周りでも「接種してきた」という声が増えてきた。ワクチン接種率は5%を超えたようだが、10%になると株価の上昇に弾みがつくという証券会社のレポートもある。今期の業績は好調だし、経済正常化とともに株価上昇にも期待は膨らむ。ただ、チャートはまだ好転していない。カギ握る米国株はインフレ懸念やテーパリング観測で株価はもたつき、そしてビットコインが急落。“どん欲”だった投機マネーの流れに変調も感じる。高値アノマリーのある「6月」だが、日経平均のチャートが梅雨明けするまで個別株は打診買いで様子を窺うのも一策となろう。

A、日足チャート陰転

もう忘れていたかも知れないが、日経平均は5/13に27385円まで下げ、日足チャートは「陰転」している。アノマリー通りに5月の連休明けに高値29685円をつけたが、そこ



から急落して 25 日線や 75 日線、ネックライン（3/24 安値 28379 円）、運行線の雲下限（28520 円）など節を軒並み割り込んだ。三角保ち合いからの「下放れ」でもあり、好転を確認するまで下値模索が続くこと否めない。

ここから好転するには、上に控える多くの節を抜かねばならない（右記）。三角保ち合いの上値抵抗線がこの先 75 日線と同水準になるので、75 日線突破が好転の合図になる。

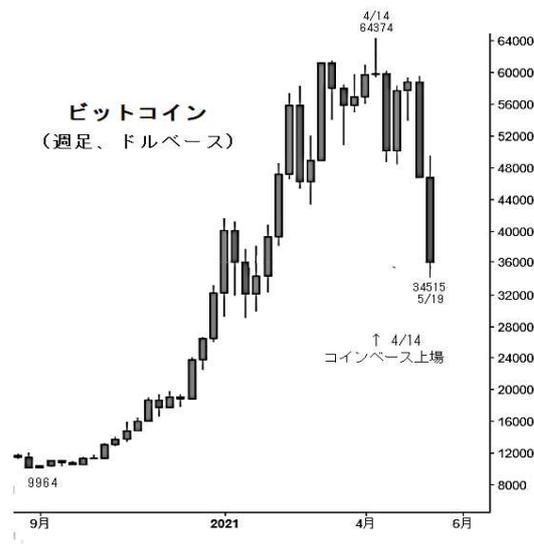
いま日経平均は 5/13 安値から戻り歩調だが、チャートでは割り込んだネックラインに向けてのプルバック（アヤ戻り）であり、デッドクロスした 25 日線などが上値の節となりやすい。これらの節で頭を叩かれると、この先「二段下げ、三段下げ」に進むリスクが出てきて 200 日線や 52 週線を試すこと否定できなくなる。いま日足チャートは下げトレンドにあり、そういったリスクを抱えた状況にあることをまず触れておく。

主な上下の節	
75日線	29214
13週線	29185
100日線	28873
25日線	28854
運行雲下	28537
26週線	28523
5/21終値	28317
200日線	26498
52週線	25803

B、ビットコイン急落

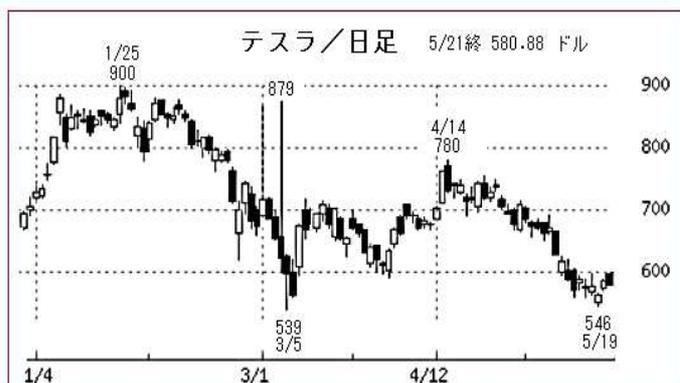
日本株のカギ握るのは米国株だが、NYダウ、ナスダックを触れる前にビットコインを触れておかねばならないだろう。前回は触れたビットコインだが、その後も下げを強め、それとともに暗号資産（仮想通貨）が軒並み急落している。

これまで余剰マネーが暗号資産にも流れ込んでいた。2月にテスラのマスクCEOがビットコインを大量に購入（15 億ドル）したことが明るみとなり、またナスダックに交換取引所「コインチェック」が鳴り物入りで 4 月 14 日に上場したこともあり、ビットコインはその日に最高値 64374 ドルをつけていた。



だが、その後は調整含みとなり、5 月 13 日にマスクCEOが「ビットコインによるテスラ車購入の支払い停止」を表明すると下げに拍車がかかり、5 月 19 日に一時 3 万ドル近辺まで急落した。高値からの下げ率はなんと 5 割超、半値以下まで叩き売られた。

その後は少し戻しているが、このビットコインの急落で懸念されるのはヘッジファンドなどに巨額損失を被ったところがあるのではないかということ。少し前に騒がれた投資会社「アルケゴス」はレバレッジを効かせていたことで、たった 1 銘柄の株価下落で巨額損失を出している。同様のことが今回のビットコ



イン（暗号資産）急落で起こりかねことを頭に入れておかねばならない。

C、NY、ナスダックも調整含み

そしてNYダウ、ナスダックだが、チャートの如くNYダウは5/10を高値にもたつき、ナスダックは4/29を高値に調整含みで推移する。

NYダウはインフレ懸念から長期金利が上昇し、5/10高値35091ドルから5/12の安値33555ドルまで3日間で1536ドル、4.3%も急落した。「CPI（消費者物価）ショック」と言われ、それが日経平均の急落につながった。

グロース銘柄の多いナスダックは長期金利の上昇を嫌気するが、その前にビットコインやテスラ株の下落が響いて4/29（14211ポイント）にピークアウト、5/12の安値13002ポイントまで2週間で8.5%下落。日足は25日線、75日線を割り込み「陰転信号」を灯した。

現在、5/19に13072ポイントで二点安値を打って切り返すが、割り込んだ25日線（13666）や75日線（13560）に差し掛かって戻り正念場のところ。このナスダックが25日線を突破できるか否かが目先ポイントになる。

米国株はこの数年、大きく調整してチャートに亀裂を入れても、その都度大きく切り返して上昇トレンドを取り戻してきた。ワクチン接種浸透、経済正常化、業績絶好調と活気付く米国。FRBと政府による金融・財政支援はまだ継続しており、こんども株価が大きく戻す可能性は十分にある。



ただし、経済の正常化は金融正常化（量的緩和縮小・テーパリング）につながり、インフレ懸念、金利上昇が避けられない。

バイデン大統領の政策

・米国 救済計画	現金給付	1.9兆ドル
・米国 雇用計画	インフラ投資	2.25兆ドル
・米国 家族計画	育児・教育支援	1.8兆ドル

バイデン大統領の主な増税策（公約）

キャピタルゲイン税	最高税率20%→39.6%	3800億ドル
所得税	最高税率37%→39.6%	1000億ドル
法人税	21%→28%	1.3兆ドル
法人ミニマム税	利益の15%徴収	1600億ドル
海外子会社	本国への利益還付10.5%→21%	3100億ドル
小規模企業優遇	段階的廃止	2100億ドル
各項目の控除縮小	上限設定	3100億ドル
社会保障負担増	報酬年額上限引き上げ	8000億ドル

バイデン大統領は、インフラ投資や教育支援など新たな策を表明する一方、法人税やキャピタルゲイン課税などの財源確保のための増税を打ち出す。また、ハネムーン期間を終えて野党・共和党

がバイデン政策に圧力をかけてきた。株式市場がこれまでと同じように「イイところ取り」で大きく上昇できるかは少々疑問でもある。

そして、ビットコインとテスラ株が急落し、ナスダックも調整。これにより第二、第三の「アルケゴス問題」が起きかねない。また、米国では強まる投機色を抑えるため金融規制強化に動く可能性があるほか、信用買い残（証拠金債務）が8200億ドルと未曾有の水準に膨れ上がっていることなど、これまで表に出なかった懸念が燻りだしていることはリスク要因として覚えておく必要あるだろう。

D、P E R 15 倍で 30795 円

さて日本だが、悪いことばかりではない。ワクチン接種が始まり、時間とともに接種率は上がり、日常生活を取り戻して経済正常化に向かうのは時間の問題と言える。それを見越してか、今期の業績を強気に見る企業が目立った。

今 22 年 3 月期（全産業ベース）は売上 9.5%増、経常 9.1%増、最終 27.9%増（23 ページ参照）で、日経採用 225 社の予想 E P S（1 株利益）は 2053 円と、年初の 1312 円から大きく増加する。いま日経平均（28317 円）の P E R は 13.7 倍で、これまでの平均 15 倍前後から見るとかなり割安だ。その 15 倍で日経平均を計算すると「30795 円」となる。

日足チャートで上値ポイントの 75 日線（29217 円）をクリアするなら一気に 3 万円台への期待が膨らむだろう。

E、持ち合い解消、225 算出方法改定

一方、日本株に需給懸念が台頭していることを押さえておかねばならない。

- ① 日経新聞社は日経平均株価の算出ルールを改定、この秋から実施する。これまで株価水準の調整に「みなし額面」を用いていたが、それを「株価閑散係数」に改める（予定）。早い話が、「ファーストリテイリング」を意識して見直すということだ。1 社だけで日経平均株価に 10%も寄与率があるのは異常だし、見直しは当然。ただ、見直しによる影響（下落）が秋まで出る可能性がある。

- ② 金融機関に政策保有株売却の動きが出てきた。13 日に三井住友トラストHDが持ち合いなどの政策保有株をすべて売却すると発表、ほかの金融機関に波及する懸念が漂い始めている。

- ③ 信用買い残が 3 兆 3300 億円と約 3 年ぶりの水準に増加している。信用買いは相場が上昇しているうちは問題ないが、相場が崩壊率が 3/19 時点で▼5.99%まで低下し、

(億円)	主な投資家動向			信用買い残		評価損率 %
	証券自己	信託銀行	外国人現+先	信用買い残	増減	
3/5	4582	-4523	-2646	29841	+98	▼10.21
3/12	4814	-2721	1949	29599	-242	▼8.10
3/19	6081	-2222	5632	30440	+840	▼5.99
3/26	6267	-5019	-3898	30796	+356	▼7.41
4/2	1693	-1637	-5354	30726	-70	▼7.59
4/9	-2558	-2265	5758	31672	+946	▼7.67
4/16	495	416	273	31976	+304	▼7.59
4/23	-3662	256	-2961	33005	+1029	▼8.71
4/30	-1494	157	-1754	32941	-64	▼8.75
5/7	-22	478	5422			
5/14	-1921	423	-11177	33360	+419	▼9.80

儲けている投資家が増えていた。だが、直近は▼9.8%に悪化する。日経平均が25日線や75日線をいつまでも下回っているとシコリ懸念はさらに高まり、重石となりかねない。

誌面の都合で「需給懸念」はここまでにするが、外国人投資家が5月第二週に1兆1177億円も売り越した背景には、このような「需給懸念」が出てきたからではないかと勘繰りたくもなる。「需給は最大の材料」であるから注視しておかねばならない。

F、まとめ

いま日米とも市場には好材料と懸念要因が混在している。ただ、どのような要因があるにせよ「相場は流れに従う」のが基本。つまりは日経平均のチャートに従えということ。25日線や75日線を下回っている現状では慎重姿勢も必要ということになる。

6月相場は「27300円～29300円」の往来、乱高下を想定した。そうした中で今号も注目株を載せている。ポイントの75日線を突破するなら強気で挑むが、それまでは個別株勝負という地合いになると見ている。もちろん、NYダウなど米国株が波乱に陥るなら意地張らずに現金比率を高めるべきだ。そうしたスタンスを心しながら、個別株は打診買い程度で対応してほしいと思う。（富田）

*次ぎ7月号は **6月28日** 発行です。

<参考チャート> 21年5/24号

*チャート提供「株の達人」

1. 日経平均「週足」

週足も調整入りの兆し

13週線（29185円）、26週線（28523円）を割ってきた。週足RCIはまだ調整過程で底打ちまでにはもう少し時間を要す。



2. NYダウ「週足」

RCIの過熱続く

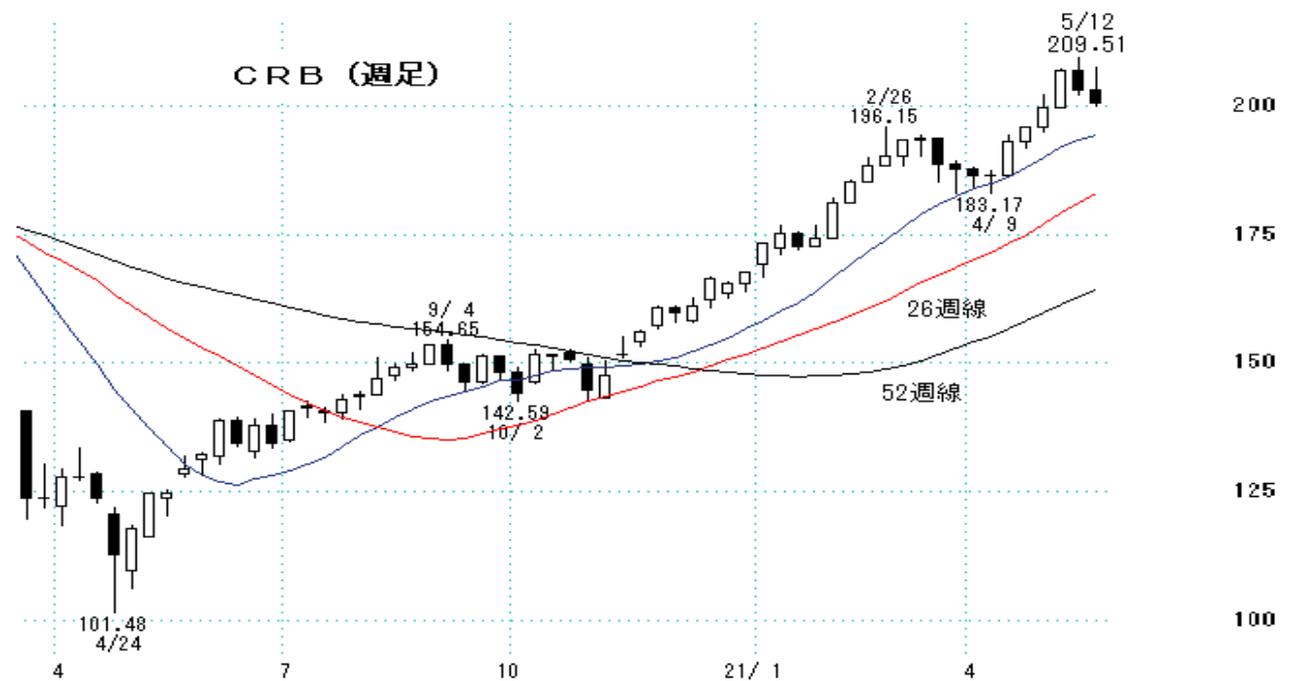
NYダウは5/10まで堅調に最高値を更新したが、CPIのインフレ懸念でスピード調整入り。13週線を下値に上昇基調を維持するが、週足RCIは警戒信号を灯しており、さらなる調整には注意必要だ。



3. 商品CRB、原油WTI「週足」

投機マネーに変化?

投機マネーが商品にも流れ込み、CRBは3年前の高値206を突破した。ただ、株式市場の調整を受けてCRBも頭打ちの気配。投機マネーに変化の兆しが出てきた可能性あり注視される。



【4005 住友化学】 時価 586円 目標 670~720円

□ 好業績、踊り場を待ち伏せ

4月26日に前期の最終益を200億円→460億円と一転増益に修正、昨年10月以降の回復を鮮明にした。そして5月13日に本決算を発表(下表)。景気の本格回復には時間を要すとしながらも、今22年3月期はコロナ収束による世界経済回復を背景に売上14%増、営業35%増、最終117%増と続伸を見込み、EPSは61.2円、配当を20円(上期10円)に増やす。半導体向け高純度ケミカルやフォレスト材の伸びが目立つが、中期経営計画の最終年度に当たりグループ挙げての生産性向上、財務改善など成長努力が続こう。

チャートの如く株価はこの2ヶ月550~600円ゾーンで踊り場を描いている。昨年10月の300円台から順調に水準を上げてきたのでスピード調整は当然だが、75日線や13週線が下から迫ることから間もなく二段上げに動き出すことも想定される。

時価はPER9.6倍、PBR1倍と割安にあり、月足では2018年に882円高値がある。化学ポスの主力ながら、バリュー銘柄の中核としてファンドマネーの継続流入も想定される。動き出せば次ぎ700円を目指すことになるろう。中期投資持続。

(下振れ対応：下値メド26週線520円。500円接近でナンピン方針)

期	売上	営業	経常	純益	EPS	1株配	1株純資産
2019.3	23185	1829	1883	1179	72.2	22	610
2020.3	22258	1375	1304	309	18.9	17	565
2021.3	22869	1371	1378	460	28.2	15	623
予2022.3	26100	1800	未	1000	61.2	20	645

* 売上、経常、最終益は億円。EPS、1株配、純資産は円(4005)



週足



月足



【7203 トヨタ自動車】 時価 8743円 目標 1万~11000円

□ 自社株買い&株式5分割

5月12日の後場に決算発表。前21年3月期の経常（税引き前）利益は減益予想から一転5%増2兆9323億円となり、今22年3月期は6.1%増3兆1100億円と続伸、6期ぶりに過去最高益更新を見込む。また、同時に4100万株（発行済み株式数の1.46%）、2500億円を上限とする自社株買い（取得期間6/18~9/30）と、9月末の株式5分割を発表した。日本を代表するグローバル企業で、2030年に電動車の販売800万台目標を掲げるが、グループ力を結集して脱炭素社会をリードして行く、そんな意気込みを株式の面からも明確にしようとしている。

株価は3月に8712円まで上げ、その後8000円台でもみ合っていたが、直近その高値を抜き過去最高値を更新した。6年前の高値8783円（2015年3月）を意識して調整挟むのはセオリー通りだが、その高値を抜いたことで相場は新たな展開に入ったと言える。野村証券は目標株価を10200→11700円、ゴールドマンサックスは10500→11000円に引き上げた。昨年3月コロナショックの倍返しが「10280円」。まずそこを目標にするが、9月末の株式5分割を取るのも一策で、中長期方針も有望だ。

（下振れ対応：下値メド26週線8000円、目標に届かなければ分割後に再検討）

期	売上	営業	経常	純益	EPS	1株配	1株純資産
2019.3	302256	24675	22854	18828	650	220	6830
2020.3	298665	23992	27929	20361	727	220	7454
2021.3	272145	21977	29323	22452	803	240	8370
予2022.3	300000	25000	31100	23000	822	未	

* 売上、経常、最終益は億円。EPS、1株配、純資産は円(7203)



週足

平均線 (13週、26週、52週)



月足

平均線 (24月、60月、120月)



【3774 I I J】 時価 2754 円 目標 3400~4000 円

□ 業績好調、上昇基調の押し目妙味

5/12 に決算発表。今 22 年 3 月期は下表の如く続伸、前期に続き最高益を更新、EPS 129.7 円、年 39 円配当を予定する（昨年 12 月末に株式 2 分割あり、20 年 9 月以前の EPS、配当、1 株純資産は修正値を掲載）。

決算と同時に新中期計画（24 年 3 月期の売上 2700 億円）を発表。社名の「インターネットイニシアティブ」の通り、インターネット社会において技術革新と画期的サービスで社会の発展に貢献して行くというスローガンは、アナリストに好評だ。総務省が格安スマホを支援する改革を検討しているのもプラス要因。

掲載チャートは昨年 12 月末の株式 2 分割を修正したもので、分割により株価は 4040 円から 2021 円に低下して再スタート。その後 4/9 に 2864 円高値を付けるなど順調に推移している。直近 1 ヶ月ほどスピード調整を挟んだが、決算を機に再び動き出してきた。信用残にシコリなく、右肩上がりの展開が続こう。堅実な内需関連銘柄、中期で分割前の 4000 円水準を目指すとする。

（下振れ対応：下値メド 75 日線 2500 円。ナンピンせずに様子見方針）

期	売上	営業	経常	最終	EPS	1株配	1株純資産
* 2020.3	2044	82	71	40	44	13.5	876
* 2021.3	2130	142	140	97	107	25.5	997
予2022.3	2260	175	173	117	129	39.0	1050

* 21年1月2分割あり20/9以前は修正した値 * 売上、経常、最終益は億円。EPS、1株配、純資産は円(3774)



週足 (分割修正チャート)

平均線 (13週、26週、52週)

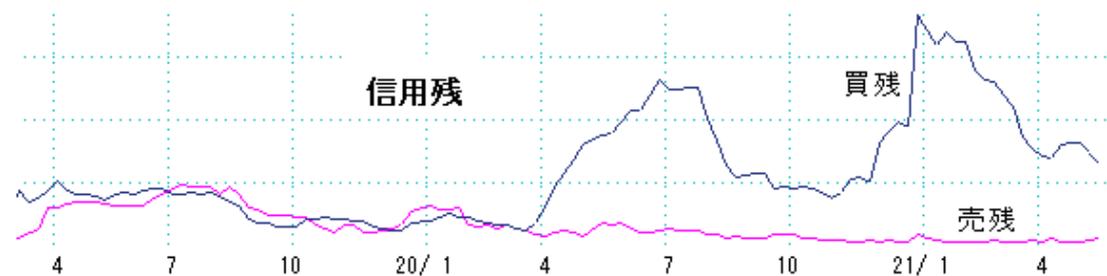


信用残

買残

売残

60
40
20
万株



月足 (分割修正チャート)

平均線 (24月、60月、120月)



トレチャ注目株一覧

(5/21現在)

号	銘柄	寄	その後安値	その後高値	目 標
10月28日	1803 清水建設	1031	1001(11/1)	1176(2/10)	目標1150円達成
11月号	4963 星光PMC	836	821(10/30)	1132(12/3)	目標930円達成
	6070 キャリアリンク	582	300(3/19)	3475(21.2/17)	目標680円☆500円とも達成
11月25日	6752 パナソニック	995	964(11/25)	1520(21.2/15)	目標1200円達成
12月号	7456 松田産業	1586	1110(3/17)	2461(21.5/14)	目標1750円☆1380円とも達成
12月16日	3778 さくらインター	680	333(3/13)	889(10/28)	目標780円☆520円とも達成
1月号	6768 タムラ製作所	697	316(3/17)	736(1/9)	目標780円 ☆530円達成
1月27日	2432 DeNA	1803	1043(3/19)	2359(21.5/7)	目標2200円 ☆1400円達成
2月号	2488 日本サードパーティ	1097	607(3/13)	1199(5/25)	目標1300円 ☆850円達成
2月25日	2395 新日本科学	650	411(3/13)	855(9/16)	目標780円☆580円とも達成
3月号	3328 BEENOS	1040	700(3/19)	3570(21.5/10)	目標1400円☆990円とも達成
	8473 SBI	2316	1275(3/19)	3350(21.3/19)	目標2750円☆1800円とも達成
3月23日号	4347 ブロードメディア	77	66(4/6)	146(6/23)	目標110円達成
4月27日号	3402 東レ	479	472(5/7)	756(3/18)	目標560円達成
5月号	4425 Kudan	4400	4025(5/11)	6480(5/20)	目標5500円達成
5月25日号	4963 星光PMC	688	625(9/7)	840(3/30)	目標780円達成
6月号	9064 ヤマトHD	2179	—	3160(3/29)	目標2300円達成
6月22日号	6034 MRT	1535	1221(8/3)	1932(10/21)	目標1680円達成
7月号	6838 多摩川HD	2488	1422(5/18)	2580(10/20)	目標2800円
7月27日号	1447 ITbook	591	504(8/21)	1060(9/25)	目標720円達成
8月号	6698 ヴィスコ	1060	881(9/11)	1324(10/13)	目標1350円
8月24日号	2120 LIFULL	470	355(1/19)	520(9/23)	目標570円
9月号	6222 島精機	1471	1452(8/27)	2713(3/22)	目標1620円達成
9月28日号	6754 アンリツ	2350	1988(5/19)	2837(1/28)	目標2800円達成
10月号	8473 SBI	2696	2375(12/29)	3350(3/19)	★1月2700円台で売却
10月26日号	6222 島精機	1757	1528(10/30)	2713(3/22)	目標2000円達成
11月号	7725 インターアクション	1681	1577(10/29)	2742(1/21)	目標1950円達成
	8053 住友商事	1228	1140(10/30)	1651(3/29)	目標1390円達成
11月24日号	7012 川崎重工	1630	1488(12/1)	2861(3/23)	目標1780円達成
12月号	7940 ウェブロック	734	—	899(1/25)	目標880円達成
12月21日号	5803 フジクラ	480	446(12/23)	598(5/10)	目標600円
1月号	6871 日本マイクロ	1251	1181(12/23)	1988(4/5)	目標1500円達成
1月25日号	1945 東京エネシス	990	898(3/4)	998(3/15)	目標1290円
2月号	9613 NTTデータ	1508	—	1785(3/18)	目標1750円達成
2月22日号	6727 ワコム	798	636(5/13)	—	目標900円
3月22日号	1801 大成建設	4345	3790(5/19)	4530(3/29)	目標4950円
4月号	1726 ビーアールHD	626	510(5/17)	—	目標730円
	6503 三菱電機	1745	1592(4/21)	—	目標1950円
4月26日号	5020 ENEOS	461	451(5/21)	512(5/10)	目標570円
5月号	6768 タムラ製作所	520	506(4/28)	558(5/13)	目標660円

* 目標達成後の安値は見直しいたしません。★は変更あり、☆は20年3/23号ナンピンによる再目標。

日本でもようやくワクチン接種が始まり、
接種したよ、という声も耳に入ってくる。
ワクチンの輸入は順調で数も豊富にあるという。
それでも、ネットや電話に予約が殺到、
役所に殺到して騒ぎになったり
予約なく直接接種会場に足を運ぶ人もいる。
権力者が先に接種したとか強要したとか
モデルナはいや、ファイザーがいい・・・
高齢者の異様ぶりが連日報道されている。
政府への風当たりも強まっているが、
だが、それでも、いずれ接種は行きわたり、
日本にも日常生活が戻り
経済も正常化する日がやってこよう。
何事も「時」が解決してくれる。
マスクは先に正常化する欧米をもてはやすが、
欧米はどれだけの人を犠牲にしたことか、
それに比べ日本の犠牲者はケタ違いに少ない。
すばらしい日本、日本の「底力」を信じている。
ちなみに、自分の接種は未定で、予約もこれから。
かかりつけ医院はなく、たぶん接種会場に行くのだろう。
できればファイザー製がいいな～

こち亀だより～



* * * * *

久々の下落にとまどっています。
私もお客様も調子に乗っていた部分があり、
正直、いまはちょっと・・・厳しいです。
良い時もあれば、こんな時もあるでしょう。
今回の下げにはいろいろな要因があります。
決算の出尽くし、米国株下落、コロナ感染など。
一番気になるのは日銀で
ETF買いを控えていることです。
中央銀行が市場に入り込むのは良くないことですが、
これまで必ず入っていたものがなくなると
なんだか不自然にも感じます。
日経平均銘柄の大幅入れ替えの噂がチラホラ。
だから日銀は買いを控えているのか？
こういう相場だと余計なことを勧めるようになります。
悪循環はこういうことで始まるのでしょうか。
さて、それでも「上昇」を信じて、きょうもお仕事、お仕事。



ムサシの二刀流



□7763 クリーク&リバー社 (5/20 時価 1510円)

映像・ゲーム分野の人材派遣と制作が主力。

22/2 月期は医療分野の医師派遣やテレビ局向けクリエイティブ関連派遣の好伸、コロナ禍で停滞したVR機材の復調等で、売上400億円(前期比7%増収)、経常利益29億円(同左15%増益)と売上利益全て3期連続史上最高更新見込み。1500円前後の押し目を拾い、1800円目標。(1200円割れ撤退)。

(お願い) 寄稿後に株価が大きく動いていることあり、取り扱いには十分注意されますようお願いいたします。



「月刊ムサシ」メール・FAX配信の案内

抜群の上昇率で大好評(入退会・再入会自由)

- (1) 発行・形式: 毎月第1週、第3週の2回発行、ファックス又はEメール、TELにて
- (2) 内容: A4用紙5頁前後、当面の相場展望とヒット率の高い銘柄を厳選推奨、売買タイミング等を紹介。
- (3) 価格: 月間1万円(お試し期間3ヶ月は5000円)
- (4) 特典: 年4回発行「ムサシ季刊レポート」定価9800円を5800円に割引

「季刊レポート: 春号」4/26発売

(新年号は推奨9銘柄平均の上昇率既に40%)

- (5) お申し込み及びお問合せ等:

「月刊ムサシ」「季刊レポート」ともEメールまたは電話でお願いします。

- ① Eメールの場合: 住所、氏名、郵便番号、電話番号等必要事項を記載の上、
[メールアドレス musashi3963439@yahoo.co.jp](mailto:musashi3963439@yahoo.co.jp) 宛へお知らせください。
- ② 電話の場合: 090-5480-5308(午前10時~午後7時)
住所、氏名、郵便番号、電話番号等を確認させていただきます。
- ③ 代金振込先: 下記2行のいずれかにお振り込み下さい。
 - i) 三井住友銀行 大阪本店営業部(普) 1412341 安達松樹(アダチマツキ)
 - ii) ゆうちょ銀行 10110-76929161 安達松樹

武蔵総合研究所 代表 安達松樹

高岡隆一 “今月の作戦”

業績回復、押し目狙い

- ◆5月10日～14日の週は、米国の物価上昇を嫌気して日米とも株価は大きく荒れた。週間でNYダウは-1.1%、ナスダックは-2.3%、日経平均は-4.3%と、週内の安値から戻したことで大きな下げにはならなかったが、震源地の米国よりも対岸の日本の方が下げているのは弱い証拠でもある。しばらく「個別売買」と割り切るしかなさそうだ。
- ◆好決算を背景に225採用銘柄の一株利益が4/1の1300円から5/14に1950円と急増している。5/13に付けた安値27385円はPER14倍(27300円)水準であるから、値幅調整はほぼ完了と言えるだろう。テクニカル面でも、2週サイクルや1ヶ月サイクルがボトム圏まで低下、調整一巡感を示す。
- ◆ただし、月足では9ヶ月・6ヶ月RCIが過熱圏から下降中で、株価も6ヶ月線(28400円弱)を出没中。今後は、3万円を超えて上昇トレンドが出るかがポイントになる。一方、29000円以下の推移が続くなら、月足RCIの低下に沿うように調整モードから脱しきれないと思われる。5/19時点の結論としては、「日足は買い、週足は押し目狙い、月足は戻り売り」である。
- ◆決算は好調な銘柄が意外に多かった。コロナワクチン接種が遅れ、業績回復も後ズレしそうな状況下で企業トップが楽観的な収益予想を出すということは、ワクチン接種が進み経済の正常化が早まり、業績が上向くという読みなのだろう。
- ◆そうすると、一株利益が増加して日本株を割安方向に導くことになる。個別株は調整安を懸念するよりも、「押し目買いの好機」と前向きに捉える方が素直だろう。

好業績割安株の「7915 NISSHA」は上方修正+PER8.4倍、「7259 アイシン」はPER8倍+利回り4%、「6997 日本ケミコン」は経常1.6倍+PER10倍。アフターコロナを見据えるなら「4680 ラウンドワン、9603 HIS、2196 エスクリ」などに注目したい。(5/19記)



月払いQ2

高岡隆一の**株価天気予報**

お問い合わせは

03-5386-7391

サンプル音声をお聞きになるには
info@tradersshop.com まで
「株価天気予想」とメールください

～話題株・活躍株・ウワサ株～

〈お願い〉このコーナーは耳にした話、噂などを無作為に書き込んでおり、コメントの裏付けは取っておりません。寄稿後に株価が動いていることもあり、売買に関してはご自身の責任のもと注意されますようお願いいたします。



○1447 I T b o o k

5/17 発表の今期業績を好感、S 高交えて 504 円まで急伸。昨年 9 月 1060 円から 356 円まで大きく調整入れていた株。「400 円台はもたつき買い OK」の声も聞こえる。

○1518 三井松島

今期は経常微減益ながら、最終 20 億円の黒字転換、EPS 153 円、配当 50 円継続。株価 940 円処に軟調だが「積極化の M & A 効果が出てくる」と某アナリストは強気の構え。

○3382 セブン&アイHD

米投資ファンド「バリューアクト」の 4.3% 保有が明らかに。米国のコンビニ買収が難航しており「嫌気売りが出るなら買いになる」と某外資系筋。

○4436 ミンカブ

QUICK と日経新聞社が当社と資本業務提携。金融情報「みんかぶ」や「カブタン（株探）」の活躍機会が増え提携効果大。中堅証券筋は「いま 3700 円処は狙い目」と。

○5333 日本ガイシ

4/28 に今期好業績見通しを発表。野村、大和、日興が揃って目標株価を引き上げ。だが株価は反応せず 3 月 2153 円高値から調整 2 ヶ月。押し目買い好機になるとの声あり。

○5713 住友鉱山

再び「金」が動意付いてきた。今期は純益 10% 増と続伸予想で EPS 378 円。某大手証券筋は「5000 円以下のもたつきは押し目好機になる」という。

○5816 オーナンバ

1-3 月期 (1Q) の経常益 6.3 億円 (+403%)、12 月通期を上方修正するも、1Q 進ちよく率 50% で某アナリストは「更なる増額修正必至、600 円台はまだ強気 ok」と。

○7721 東京計器

900 円台の踊り場からジワリ浮上。業績は前期に減益幅を縮小させ、今期は小幅ながら増収増益見込むが、それより「防衛関連としてキナ臭い」と指摘する事情通。

○7936 アシックス

東京五輪の開催有無が一つポイントだが、それにかかわらず株価は思惑ありとの声。信用残 0.7 倍、貸借 0.01 倍、逆日歩点灯。需給相場で一段高の可能性ありと。

○9432 N T T

ドコモ吸収後もトヨタやセブンHDと提携、ドコモはメドレーに出資するなど積極姿勢が鮮明。年 110 円配当で利回り 3.7%は魅力。3 月の 3000 円到達後に調整中だが、某外資系筋は「3000 円の節突破へ準備万端」と強気もよう。

○9726 K N T—C T

近鉄グループから総額 400 億円の資本支援により 6/30 債務超過解消へ。ワクチン接種浸透とともにコロナ後関連株に注目する筋があり、当社もその一つだという。

《注意銘柄》



●6335 東京機械

黒字定着を背景に 500 円処のもみ合いを上放れて 600 円台乗せ。思惑含みではあるが、「短期筋中心、120 ヶ月線到達で利食いも出やすくなる」と冷静な声も。

●6701 N E C

5/12 発表の今期業績予想（最終 55%減益）に、「これほどシビアなものを出すとは…まったくの想定外」と驚きの声は少なくない。今後の決算で「上方修正を出す可能性高まる」という見方もあるが、5000 円まで急落したことでシコリをかなり抱えた。目先、自律反発も出るだろうが、某大手証券筋は「当面は戻り売りになる」と。

●6775 T Bグループ

宿泊用カプセルボックスを阪神電鉄から受注と伝わり 260 円に急騰。ただ、枯れきった地合いでの材料に好反応するが、連続赤字体質で継続重要事象の株。某事情通からは「あくまでも短期筋の遊び玉中心。ほどほどに見ておけ」と冷めた声。

●9983 ファーストリテイ

ウイグル自治区の問題もあるが、それ以前に日経新聞社が 5/10 に日経平均株価算出ルールの変更案を発表したことが大きいと某ファンド筋。現在、ファーストリ 1 社の日経平均寄与率は 10%程と大きく、日経社はこれをどうにか改善したいらしい。改定は秋に実施予定で、各ファンドはそれまでにポジション調整に動くことになると。値がさ株だけに下値メドは深く「手を出すな、手を出すなら空売りだろう」と。

このコーナーはリスク伴う銘柄や未確認情報が含まれており、売買に関してはご自身の判断の元、注意するようお願いいたします。



香港ファンドが異議
好需給で**高値追随**

勝負

□8803 平和不動産 (5/21 終値 4255 円)

6/24に株主総会がある。香港アクティビスト（物言う株主）が天下り禁止など3つの株主提案を提出していて、市場の注目を集めている。東京証券取所の大家として堅実経営を誇る当社だが、東証関係者の天下り先になっており、なれ合い慣行があるのは事実。その「兜町のタブー」を突いたアクティビストに賛同する向きは少なくない。

4/30に発表した決算は、今期の売上62%増と順調で、配当を前期に77円と21円増やし、今期も82円に増やす。アクティビストを意識して対応していると思われる。

そして、直近の株価は4200円台に上げてきた。3500円台、3800円台の節を順次クリアし、チャートは右肩上がり強めている。信用残1.07倍（5/14現在）、貸借倍率0.52倍で5銭の逆日歩付付き（5/20現在）と需給妙味もあり、このまま過去最高値5020円（05年1月、株式併合修正値）を目指す可能性ある。割り切ってこの勢いに乗ってみたい。



業績動向

「お断り」*全5ページ *4/24~5/18発表分
 *今3月期は22年3月期(前3月期分は未掲載)
 *すべてを網羅・掲載していません。

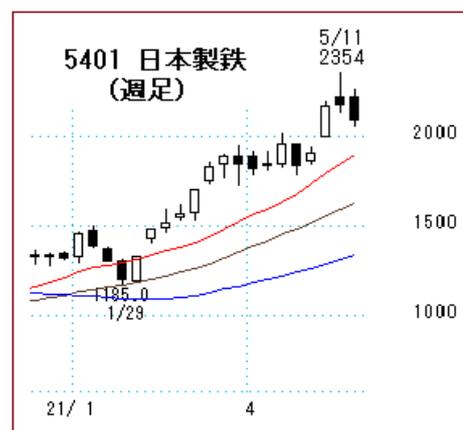
3月期決算集計(%)

(東証1・2部、前年同期比)		売上	経常益	純利益	
製造業	829社	21年3月期	-8.0	+15.8	+34.8
	786社	22年3月期	+9.5	+12.7	+25.5
金融含む 全産業	1683社	21年3月期	-7.4	+8.5	+25.9
	1476社	22年3月期	+5.5	+9.1	+27.9

《今22年3月期、主な好調予想銘柄》

☆好調な主力処

住友化<4005>、三菱ケミ<4188>、日本製鉄<5401>、
 神戸鋼<5406>、JFE<5411>、古河電工<5801>、
 住友電工<5802>、LIXIL<5938>、豊田自織機<6201>、
 SMC<6273>、ダイキン<6367>、日本精工<6471>、
 日本電産<6594>、パナソニック<6752>、TDK<6762>、
 ファナック<6954>、京セラ<6971>、太陽誘電<6976>、
 三菱重<7011>、川重<7012>、IHI<7013>、
 トヨタ<7203>、島津<7701>、伊藤忠<8001>、
 三井物<8031>、東京エレクト<8035>、NTT<9432>、



☆今3月期好調企業

マルハニチロ<1333>、サンヨーホームズ<1420>、ITBOOK<1447>、スペースバリュー<1448>、KH
 C<1451>、東急建設<1720>、コムシスHD<1721>、オーテック<1736>、ソネック<1768>、三井住友建設
 <1821>、若築建<1888>、弘電社<1948>、NESIC<1973>、日M&Aセンター<2127>、メンバーズ<2130>、
 タケエイ<2151>、nms<2162>、成学社<2179>、パーソナルHD<2181>、井村屋<2209>、デジタルア
 ーツ<2326>、総合警備<2331>、平安レイ<2344>、エイジア<2352>、カカクコム<2371>、セントケア<2373>、
 ルネサンス<2378>、ベネフィット<2412>、ヒビノ<2460>、ハードオフ<2674>、東エレデバイス<2760>、
 双日<2768>、コメ兵<2780>、焼津水産<2812>、ダイショー<2816>、ピエトロ<2818>、ニチレイ<2871>、
 永谷園<2899>、SREHD<2980>、ランディックス<2981>、

ゲンゼ<3002>、クオール<3034>、セキュアヴェイル<3042>、ZOZO<3092>、三越伊勢丹<3099>、東洋
 紡<3101>、クラボウ<3106>、トヨタ紡織<3116>、マーチャント<3121>、マクニカ富士<3132>、オーウ
 イル<3141>、グリムス<3150>、レスター<3156>、OCHI<3166>、Cominix<3173>、シュッピン<3179>、
 ウィン<3183>、野村不動産<3231>、東急不動産<3289>、飯田G<3291>、日本製麻<3306>、日本調剤<3341>、
 内外テック<3374>、スターティア<3393>、帝人<3401>、トーカロ<3433>、ケイアイ不<3465>、アグレ都
 市<3467>、フェイス<3489>、共和レザー<3553>、小松マテーレ<3580>、ワコール<3591>、ワールド<3612>、
 TIS<3626>、イーブック<3658>、エムアップ<3661>、テクノスジャパン<3666>、エンカレッジ<3682>、
 プロシップ<3763>、I I J<3774>、いい生活<3796>、ULS<3798>、ジータット<3841>、コムチュア<3844>、
 アイフリークモバ<3845>、NTT データイントラ<3850>、北越コーポ<3865>、中越パルプ<3877>、 →

(続：業績動向 今3月期好調予想銘柄)

アイリッジ<3917>、ダブルスタン<3925>、チエル<3933>、ベネフィットJ<3934>、トーモク<3940>、イノベーション<3970>、

セ硝子<4044>、関電化<4047>、デンカ<4061>、イビデン<4062>、第一稀元素<4082>、エアウォーター<4088>、日本酸素<4091>、日本化学産<4094>、日パーカライ<4095>、四国化成<4099>、カネカ<4118>、日ピグメント<4119>、ココペリ<4167>、菱ガス化<4182>、ファブリカ<4193>、積水化学<4204>、アイカ<4206>、宇部興<4208>、リケンテクノ<4220>、積水化成<4228>、タカギセイコー<4242>、カーリット<4275>、プレステージ<4290>、野村総研<4307>、東邦シス<4333>、ソースネク<4344>、CTS<4345>、インフォコム<4348>、メディカシス<4350>、扶桑化学<4368>、ビープラッツ<4381>、IPS<4390>、新日本理化<4406>、ハリマ化<4410>、アウトリア<4423>、ミンカブ<4436>、バルテス<4442>、石原ケミ<4462>、三洋化成<4471>、JMD C<4483>、アステラス<4503>、エーザイ<4523>、理研ビタ<4526>、参天製薬<4536>、JCRファーマ<4552>、ゼリア新薬<4559>、関西ペ<4613>、日特殊塗<4619>、大日塗料<4611>、ダスキン<4665>、フジメディア<4676>、ラウンドワン<4680>、IDHD<4709>、早稲田アカデミ<4718>、SBテクノ<4726>、USS<4732>、伊藤忠テクノ<4739>、昭和システム<4752>、セントラルスポ<4801>、JFEシステム<4832>、スペースシャワー<4838>、エンジャパン<4849>、マンダム<4917>、アイビー化粧品<4918>、日本高純度化学<4973>、JCU<4975>、デクセリア<4980>、寺岡製<4987>、



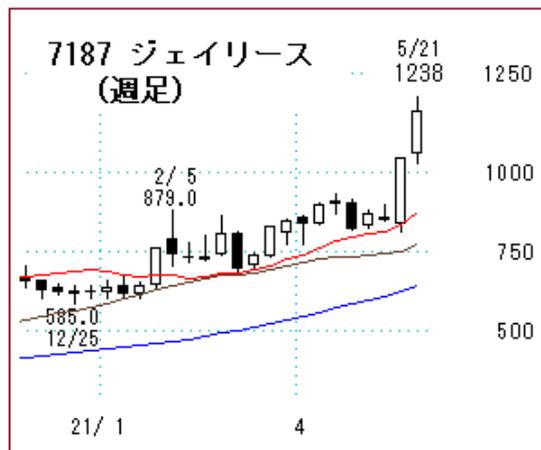
ユシロ化<5013>、出光興産<5019>、ヴィズ<5071>、西川ゴム<5161>、フコク<5185>、ニッタ<5186>、住友理工<5191>、ミツ星ベ<5192>、石塚硝子<5204>、ヤマックス<5285>、ノリタケ<5331>、TOTO<5332>、日本ガイシ<5333>、クロサキ<5352>、ニッカトー<5367>、中山鋼<5408>、東京製鉄<5423>、大和工<5444>、中部鋼板<5461>、丸一鋼管<5463>、大同特鋼<5471>、冶金工<5480>、山陽特鋼<5481>、愛知製鋼<5482>、東北特殊鋼<5484>、虹技<5603>、日本鑄造<5609>、日本製鋼所<5631>、三菱製鋼<5632>、日本精線<5659>、神鋼鋼線<5660>、パウダーテック<5695>、大紀アルミ<5702>、日軽金<5703>、住友鋳山<5713>、DOW A<5714>、邦チタ<5727>、UACJ<5741>、NIC<5742>、CKサンゲツ<5757>、タツタ線<5809>、アーレスティ<5852>、ホッカン<5902>、アルインコ<5933>、ユニプレス<5949>、東洋刃物<5964>、ネツレン<5976>、カネソウ<5979>、東京製綱<5981>、バイオラックス<5988>、スーパーツール<5990>、ニッパツ<5991>、中央発条<5992>、ファインシンター<5994>、

IRジャパン<6035>、イート<6038>、レントラック<6045>、オークマ<6103>、芝浦機械<6104>、アマダ<6113>、アイダ<6118>、岡本工作<6125>、牧野フ<6135>、旭ダイヤ<6140>、NITTOCKU<6145>、高松機械<6155>、中村超硬<6166>、一蔵<6186>、ヤマシンフィル<6240>、藤商事<6257>、ペガサス<6262>、ニッセイ<6271>、レオン自動機<6272>、オイルス<6282>、カワタ<6292>、日精樹脂<6293>、ワイエイシー<6298>、コマツ<6301>、日立建機<6305>、TOWA<6315>、北川鉄工<6317>、ハーモニックドライブ<6324>、テセック<6337>、新東工<6339>、栗田工業<6370>、椿本チェ<6371>、大同工<6373>、ダイフク<6383>、タダノ<6395>、CKD<6407>、平和<6412>、理想科学<6413>、SANKYO<6417>、フクシマガリレ<6420>、ブラザー<6448>、マックス<6454>、日ピス<6461>、リケン<6462>、ニチダイ<6467>、大豊工業<6470>、ジェイテクト<6473>、ミネベアミツミ<6479>、日本トムソン<6480>、

オリジン<6513>、山洋電気<6516>、三相電機<6518>、キャリアインデ<6538>、ウェルビー<6556>、ジーニー<6562>、ABホテル<6565>、三桜工<6584>、東芝テック<6588>、芝浦メカ<6590>、愛知電機<6623>、JALCO<6625>、JVCケンウッド<6632>、ミマキ<6638>、大崎電<6640>、オムロン<6645>、IDEC<6652>、シライ電子<6658>、リバーエレ<6666>、メルコ<6676>、ダイヤモンドエレク<6699>、OKI<6703>、サンケン<6707>、アイホン<6718>、セイコーエプソン<6724>、EIZO<6737>、日本信号<6741>、京三製<6742>、能美防災<6744>、シャープ<6753>、アンリツ<6754>、タムラ製<6768>、アルプスアルパ<6770>、メイコー<6787>、航空電子<6807>、本多通信<6826>、京写<6837>、AKIBA<6840>、新電元<6844>、

アズビル<6845>、東亜DK<6849>、シスメックス<6869>、IMAGICA<6879>、フェローテック<6890>、沢藤電機<6901>、デンソー<6902>、原田工業<6904>、イリソ電子<6908>、アパールデータ<6919>、ウシオ電<6925>、遠藤照明<6932>、双信電機<6938>、山一電機<6941>、NKKスイッチ<6943>、図研<6947>、日本電子<6951>、カシオ<6952>、エンプラス<6961>、ローム<6963>、新光電気<6967>、協栄産<6973>、村田製<6981>、北陸電気工業<6989>、東海理化<6995>、ニチコン<6996>、日本ケミコン<6997>、

三井E&S<7003>、コプロHD<7059>、ギークス<7060>、WDBココ<7079>、NextOne<7094>、三菱ロジ<7105>、全国保証<7164>、東京きらぼし<7173>、コンコルディア<7186>、ジェイリース<7187>、イントラスト<7191>、GMB<7142>、日本モーゲージ<7192>、アルヒ<7198>、いすゞ<7202>、日野自<7205>、三菱自<7211>、武蔵精密<7220>、日産車体<7222>、ユタカ技<7229>、トピー<7231>、東京ラヂ<7235>、NOK<7240>、フタバ産<7241>、KYB<7242>、プレス工業<7246>、ミクニ<7247>、アイシン精<7259>、マツダ<7261>、SUBARU<7270>、TBK<7277>、エクセディ<7278>、ミツバ<7280>、豊田合成<7282>、愛三工<7283>、日本精機<7287>、日本プラスト<7290>、村上開明堂<7292>、ヨロズ<7294>、FCC<7296>、フジオーゼックス<7299>、IJTT<7315>、SPK<7466>、スズデン<7480>、シモジマ<7482>、プラザクリ<7502>、G-7<7508>、たけびし<7510>、ネットワークス<7518>、丸文<7537>、ゼンショー<7550>、ハークスレイ<7561>、橋本総業<7570>、VTHD<7593>、魚力<7596>、日本MDM<7600>、Uアローズ<7606>、田中商事<7619>、京都きもの<7615>、オーハシテク<7628>、白銅<7637>、JMS<7702>、長野計器<7715>、黒田精工<7726>、東京精密<7729>、ニコン<7731>、トプコン<7732>、オリンパス<7733>、スクリーン<7735>、リコー<7752>、シチズン<7762>、アビックス<7836>、RCコア<7832>、フランスベッド<7840>、フジシール<7864>、タカノ<7885>、大建工<7905>、ヨネックス<7906>、ヤマハ<7951>、菊水化学<7953>、兼松サステック<7961>、ナカバヤシ<7987>、



蝶理<8014>、兼松<8020>、OUGH D<8041>、横浜丸魚<8045>、セイコー<8050>、第一実業<8059>、佐藤商事<8065>、東海エレクトロン<8071>、神鋼商事<8075>、カノークス<8076>、阪和興<8078>、菱電商事<8084>、岩谷産業<8088>、極東貿易<8093>、兼松エレク<8096>、明和産<8103>、ヤマエ久野<8108>、デサント<8114>、中央自動車<8117>、伊藤忠エネクス<8133>、サンワテクノス<8137>、新光商事<8141>、モスフード<8153>、テクノアソシエ<8249>、みずほリース<8425>、丸井G<8252>、ゼビオ<8281>、東邦銀<8346>、芙蓉総合リ<8424>、東京センチュリ<8439>、アイフル<8515>、大東銀<8563>、リコーリース<8566>、ジャックス<8584>、オリコ<8585>、アニコム<8715>、あかつき本社<8737>、イーギランティ<8771>、NECキャピ<8793>、フジ住宅<8860>、ゴールドクレ<8871>、レーサム<8890>、カチタス<8919>、サンフロンテ<8934>、グロームHD<8938>、

ロジネット<9027>、大宝運輸<9040>、京阪HD<9045>、センコン物<9051>、カンダHD<9059>、岡山県貨物<9063>、センコーG<9069>、エスライン<9078>、丸和運輸<9090>、国際紙パ<9274>、乾汽船<9308>、宇徳<9358>、キムラユニティ<9368>、九州電力<9508>、西部ガス<9536>、NTTデータ<9613>、ナガワ<9663>、ウィザス<9696>、カプコン<9697>、クレオ<9698>、アイネス<9742>、学究社<9769>、ベネッセ<9783>、日鉄住金物産<9810>、元気寿司<9828>、CBグループ<9852>、JKHD<9896>、日邦産業<9913>、ワットマン<9927>、ミスミG<9962>、ショクブン<9969>、ペルーナ<9997>

《四半期過程で上期・通期計画を超過した銘柄》

シンクレイヤ<1724>、ワールド<2429>、共同PR<2436>、インフォマート<2492>、フジオフード<2752>、アップルインタ<2788>、<>、メディアス<3154>、サンワカンパ<3187>、アーバンネット<3242>、アスコット<3264>、チェンジ<3962>、<>、大倉工<4221>、IPS<4335>、イーソル<4420>、アドベンチャー<6030>、フリークアウト<6094>、エアトリ<6191>、アトラエ<6194>、日機装<6373>、SUS<6554>、アクモス<6888>、ルック<8029>、フィンテック<8789>、アジア航測<9233>、長大<9624> →

(続：業績動向 その他好調銘柄)

《その他、上方修正・増配など》 *今21年6月期含む

☆ホープ<1382>、☆ショーボンド<1414>、☆LibWork<1431>、☆Robot<1435>、☆INPEX<1605>、☆第一カッター<1716>、☆シンクレイヤ<1724>、☆日本工営<1954>、☆ケアネット<2150>、☆サニーサイド<2180>、☆デジタルHD<2389>、あいHD<3076>、☆アークランドサービス<3085>、☆日清紡<3105>、イデアインタ<3140>、☆三洋貿易<3176>、☆オープンハウス<3288>、☆cotta<3359>、☆ウィルプラス<3538>、自重堂<3597>、☆ブレインパッド<3655>、☆バイキューブ<3681>、☆サイバーリンク<3683>、☆フィスコ<3807>、☆アバント<3836>、☆クラウドワークス<3900>、☆DIT<3916>、☆カナミック<3939>、☆オークネット<3964>、☆マクロミル<3978>、

☆昭和電工<4004>、☆日本情報クリ<4054>、☆大阪油化<4124>、☆グローバルイン<4171>、☆KHネオケム<4189>、☆EPSHD<4282>、☆プレステージインタ<4290>、☆インテージ<4326>、☆システムサポ<4396>、☆アイキューブ<4495>、Spee<4499>、☆環境管理セン<4657>、☆サイバーエージェ<4751>、トスネット<4754>、TOW<4767>、☆長谷川香料<4958>、☆メック<4971>、☆ドラフト<5070>、☆横浜ゴム<5101>、☆TOYO TIRE<5105>、☆東洋炭素<5310>、☆リバーHD<5690>、☆エンビプロ<5698>、☆アサカ理研<5724>、☆オーナンバ<5816>、☆シンポ<5903>、

☆Keeper<6036>、イード<6038>、☆Eガーディアン<6050>、☆アライドアーキ<6081>、☆エラン<6099>、☆極東産業<6233>、☆ナガオカ<6239>、☆やまびこ<6250>、☆ユニオンツール<6278>、☆エアテック<6291>、☆サンセイ<6307>、☆北川精機<6327>、☆渋谷工<6340>、☆荏原<6361>、☆THK<6481>、☆キッツ<6498>、☆HPC<6597>、☆大泉製<6618>、☆I-PEX<6640>、☆アルバック<6728>、☆鈴木木<6785>、☆ローランドDG<6789>、☆共和電<6853>、☆堀場製<6856>、☆HIOKI<6866>、☆OBARA<6877>、☆浜松ホト<6965>、

☆スプリックス<7030>、☆デイトナ<7228>、☆市光工<7244>、☆ヤマハ発<7272>、☆シマノ<7309>、☆日リビング<7320>、☆西川計測<7500>、☆ダイترون<7609>、☆プレジションS<7707>、☆ナカニシ<7716>、☆スター精<7718>、☆タムロン<7740>、☆クレストック<7812>、☆プラッツ<7813>、☆遠藤照明<7840>、☆NISHA<7915>、☆アシックス<7936>、☆ローランド<7944>、☆Jトラスト<8508>、☆アドバンスC<8798>、☆コア商事<9276>、☆ブックオフ<9278>、☆内外トランス<9384>、☆ビジョン<9416>、☆藤久<9966>

《今22年3月期、減益予想銘柄》



☆主力企業

大成建<1801>、清水建<1803>、東洋水産<2875>、JSR<4185>、武田<4502>、塩野義<4507>、第一三共<4568>、太陽HD<4626>、三菱マテ<5711>、日本郵政<6178>、住友重機<6302>、NEC<6701>、ソニー<6758>、横河電機<6841>、ホンダ<7267>、任天堂<7974>、日本郵船<9101>、商船三井<9104>、川崎汽船<9107>、東映<9605>、



☆今3月期減益企業

ホクト<1379>、中外鋳<1491>、ビーアール<1726>、三井金エンジ<1737>、川崎設備工業<1777>、ヤマウラ<1780>、ナガボーテック<1787>、大本組<1793>、守谷商会<1798>、佐藤渡辺<1807>、松建<1810>、鹿島<1812>、不動テトラ<1813>、イチケン<1847>、戸田建<1860>、東亜道路<1882>、日本道路<1884>、五洋建<1893>、日特建<1929>、きんでん<1944>、トーエネック<1946>、日本電設工<1950>、三晃金属<1972>、明星工<1976>、日東富士<2003>、昭和産<2004>、フィードワン<2060>、塩水港糖<2112>、フジ日製糖<2114>、

ブリマ<2281>、日本ハム<2282>、林兼産<2286>、伊藤ハム<2296>、エヌアイティ<2349>、シダー<2435>、ジェイテック<2479>、日清オイリオ<2602>、エディオン<2730>、トーマンデバイス<2737>、エバラ食品<2819>、日本食品化工<2892>、オーケー食品<2905>、あじか<2907>、ケンコーマヨ<2915>、マルタイ<2919>、三洋堂<3058>、ヒラキ<3059>、富士紡<3104>、サイボー<3123>、Z O A<3375>、宮地エンジ<3431>、川田テクノ<3443>、川本産業<3604>、マツオカ<3611>、パピレス<3641>、さくらインター<3778>、F F R I<3692>、特殊東海紙<3708>、日本一ソフト<3851>、うるる<3979>、

ラサエ<4022>、東ソー<4042>、トクヤマ<4043>、保土谷<4112>、日本ゼオン<4205>、サンエー化研<4234>、日本化薬<4272>、西芝電機<4341>、ダイトケミック<4366>、サイバートラスト<4498>、持田薬<4534>、日本ケミファ<4539>、キッセイ<4547>、栄研化学<4549>、キョーリン<4569>、大正製薬<4581>、中国塗料<4617>、ロックペイント<4621>、大伸化学<4629>、T & K T O K A<4636>、イマジニア<4644>、エイジス<4659>、アイサンテクノ<4667>、日本パレット<4690>、りらいあコミュ<4708>、さくらK C S<4761>、WOWOW<4838>、高砂香料<4914>、アジュバンコスメ<4929>、ヤスハラケミ<4957>、瓦応化学<4962>、上村工業<4966>、荒川化<4968>、綜研化学<4972>、昭和化学<4990>、ニチレキ<5011>、ノザワ<5237>、三谷セキ<5273>、日本興業<5279>、ヤマウ<5284>、イトーヨーギョ<5287>、日特陶<5334>、鶴弥<5386>、チヨダウーテ<5387>、クニミネ<5388>、合同製鉄<5410>、共英製鋼<5440>、大平洋金<5541>、三井金属<5706>、日本製缶<5905>、駒井ハル<5915>、瀧上工業<5918>、那須電機鉄工<5922>、中西製作<5941>、トーアミ<5973>、中国工業<5974>、アドバネクス<5998>、

ニッキ<6042>、ライドオンエクス<6082>、エンバイオ<6092>、F U J I<6134>、豊和工<6203>、木村工機<6231>、平田機工<6258>、神鋼環境<6299>、日工<6306>、サンセイ<6307>、三菱化工機<6331>、帝国電機<6333>、鶴見製作<6351>、東自機<6360>、電業社<6365>、レイズネクスト<6378>、アネスト岩田<6381>、ヤマダコーポ<6392>、高見沢サイ<6424>、蛇の目<6445>、モリタ<6455>、前沢給装工<6485>、シンフォニア<6507>、マキタ<6586>、宮越H D<6620>、セミテック<6626>、寺崎電気<6637>、戸上電機<6643>、ホーチキ<6745>、S M K<6798>、ホシデン<6804>、ヒロセ電<6806>、かんぼ生命<7181>、ティン<7217>、表示灯<7368>、創健社<7413>、小野建<7414>、ノジマ<7419>、横浜魚<7443>、三城H D<7455>、日新商<7490>、ヤシマキザイ<7677>、理研計器<7734>、A & D<7759>、アルメディオ<7859>、中央化学<7895>、ウッドワン<7898>、野崎印刷<7919>、未来工業<7931>、ツツミ<7937>、東リ<7971>、松風<7979>、重松製<7980>、

スクロール<8005>、東都水<8038>、スターゼン<8043>、丸藤シートパイル<8046>、GSI クレオス<8101>、シナネン<8132>、リョーサン<8140>、上新電<8173>、いなげや<8182>、コメリ<8218>、アクシアル<8255>、ケーズH D<8282>、三谷産業<8285>、スルガ銀<8358>、セブン銀<8410>、日本取引所<8697>、第一生命<8750>、T & D H D<8795>、ダイビル<8806>、山九<9065>、日立物流<9086>、飯野海<9119>、プティック<9272>、三井倉<9302>、東陽倉<9306>、杉村倉<9307>、安田倉<9324>、桜島埠頭<9353>、スカパー<9412>、コネクシア<9422>、K A D O K A W A<9468>、S E H D<9478>、中部電<9502>、関西電<9503>、大阪ガス<9532>、メタウォーター<9551>、ビジ太田<9658>、スクエニH D<9684>、日建工学<9767>、札幌臨床検査<9776>、マキヤ<9890>、日伝<9902>、愛光電気<9909>、ヨンキョウ<9955>、堺商事<9967>、スズケン<9987>、ジェコス<9991>、

《その他、下方修正など》 * 今 21 年 6 月期含む

★インタスペース<2122>、★K L a b<3656>、★バリュデザイン<3960>、★アビスト<6087>、★ロゼッタ<6182>、★Q B ネット<6571>、★グッドスピード<7676>、★コクヨ<7984>、★N J H D<9421>、★M T I<9438>、★静岡ガス<9543>、★京葉ガス<9539>

以上

日経平均先物 主な建玉

(2020-21年)

		野村	GS	モルガン	JPモル	メリル	ソシエテ	CS	ドイツ	BNP	パークレ	ABN	UBS
3 月 限	12月18日	▲50597	11634	▲4784	14882	8372	7962	▲1999	▲2715	27202	13747	2499	▲8468
	12月25日	▲46902	8887	▲4520	15666	10190	8461	▲1812	▲2290	27517	13557	▲1588	▲8958
	12月30日	▲46836	7231	▲7593	16726	11093	3274	▲4105	▲807	26581	12415	5503	▲9449
	1月8日	▲44837	8158	▲5926	13585	7239	101	▲6138	▲1097	27623	12246	8060	▲9641
	1月15日	▲41780	4920	▲6088	8813	4294	▲408	▲3854	1315	26258	10912	11199	▲8022
	1月22日	▲37093	3840	▲4556	11546	4551	▲708	▲2998	598	26189	11975	4228	▲8230
	1月29日	▲31639	6425	▲3273	6732	1557	416	▲6585	—	28546	11796	5571	▲8219
	2月5日	▲30313	7299	▲2969	7386	3636	3225	▲2408	1590	28812	12355	▲4953	▲9593
	2月12日	▲30221	6058	▲4227	5255	2230	814	▲1710	3795	30236	11293	1473	▲10697
	2月19日	▲27815	8329	▲5153	2049	5908	5831	▲1601	2470	25948	8472	501	▲8372
	2月26日	▲29460	4797	▲8469	1333	4558	6785	▲1765	882	27273	9028	9019	▲8576
	3月5日	▲15018	3397	▲3946	▲243	5766	13507	▲2589	▲823	27815	6483	4165	▲11218
6 月 限	3月12日	▲6298	4269	▲14002	8107	▲2564	6473	▲2892	443	22570	9981	4684	▲12296
	3月19日	▲9986	5520	▲14779	9891	▲2192	6334	▲2768	85	24657	8796	5913	▲14883
	3月26日	▲3721	▲134	▲13435	6726	▲3015	5040	▲5620	972	24322	8922	3245	▲13212
	4月2日	545	2743	▲11589	10240	▲2275	5571	▲6114	1563	23766	5482	1128	▲13729
	4月9日	▲1960	1589	▲11148	12574	▲950	5693	▲7155	73	22803	5781	2415	▲9342
	4月16日	▲498	▲1509	▲9081	12907	212	5444	▲6517	147	24920	6500	1140	▲9058
	4月23日	2477	▲244	▲6666	10363	862	5398	▲5738	▲370	25093	2675	1579	▲8488
	4月30日	1212	▲625	▲8004	13234	591	7338	▲5092	186	25291	▲2320	▲1340	▲8803
	5月7日	—	▲1527	▲7267	13987	1440	8551	▲1514	1874	25485	▲2552	▲3737	▲7780
	5月14日	7518	▲5002	▲6076	11566	3595	11479	▲3954	▲1210	22914	—	▲6828	▲5970
	5月21日												
		野村	GS	モルガン	JPモル	メリル	ソシエテ	CS	ドイツ	BNP	パークレ	ABN	UBS

SQ29282

【コメント】 先物陰転、6月SQで建玉変化を注視

先物は5/10に29700円まで戻したが、5/14に27130円まで下げ三角保ち合いを下放れ、3/25の安値28120円も割り込みチャートは陰転を示唆した。上昇に転ずるには25日線(28800円)や75日線(29190円)を突破することが求められる。5/14までの下げ過程ではGS、CS、ドイツ、ABNの売りが目立ち、逆にメリル、ソシエテが買い増す。パークレイズは期先1300枚売り。6月メジャーSQ(6/11)前後の建玉変化に注目したい。